



第 210 号(学校だより 269 号)
平成 21 年 11 月 10 日
島根県立松江北高等学校

ポリンジャー先生との出会い～一冊の本との巡り会い

図書部長 八幡成人



「一冊の本との巡り会いが人の人生を変えてしまう」私もそのような一人である。時は大学二年生の秋、書店で偶然見つけた一冊の洋書 Dwight Boringer, *Aspects of Language 2* (ドワイト・ポリンジャー『言語の諸相』) との出会いがその後の運命を大きく変えることになる。英語の大好きな若者が、この本を読んで言語観察の緻密さに心を動かされた。そこで、気がついた幾つかの誤植と共に感想やら、オカシナ (!) 記述の指摘やらを書き綴って、アメリカの出版社気付けで送った。送ってしまってから、この著者が何とアメリカ言語学会の会長さんであることを知らされる。一介の大学生ふぜいが、時の大学者に失礼な手紙を送ったものである。ところがである。2週間もしないうちに一通の封書が自宅に届く。「数々の指摘をありがとう。ご指摘の点はもつともで次版から訂正する。ついては君は英語にとっても興味がある様だから、最近自分が書いた本を別便で送ったから読んで欲しい」とのこと。狂喜乱舞とはこのことである。数日後に届いた薄い(が高価な)書物を角から角まで興奮して読んだのを今でもはっきりと覚えている。以来、分からないことがある度にお手紙して教えを乞うようになった。几帳面な博士からは2週間後に必ず詳細な返事が届く。

その後、「宝島事件」と呼ばれる業界では有名な忌まわしい出来事をきっかけに、私たちの『ライトハウス英和辞典』に顧問としてご参加いただき、語法の記述に一層の正確さを期そうという話が持ち上がり、私とその連絡係を務めることになる。会社に全国の生徒・先生方から寄せられた疑問に対して、ポリンジャー先生に確認を取って、数行の語法注記を私が書く。そしてその記述の後には(Bol.)というマークが入ることとなった。これは日本の学習辞典界では画期的なことであった。西洋の学者は何かをお願いすると必ず謝礼のことを細かく聞いてくるが、ポリンジャー先生はお金のことに触れられることは一切なかった。純粋に英語を愛しておられる先生であった。どの会派にも属さず、一匹狼でご自分のことを devil's advocate (この表現分かりますか?) と呼ばれていた。何百通のお手紙を差し上げたことだろう。いつの日か「君の手紙は全てファイルして取ってある。一度見に来ないか」とご招待をいただいたが、それも果たせないまま、お亡くなりになってしまったことが返す返すも残念である。ご病床からの最後のお手紙は「もう手紙も書けなくなった。今病室から代筆の人に頼んで君の質問に答えている」という壮絶なものだった。先生のお書きになった著書、論文は全て私の書齋に揃っている。先生の特集が言語雑誌で組まれると、決まって私の所に写真を貸して欲しいとの依頼が来るのも、息子さんから生前の先生のプライベートなお写真を預かっているからである。ポリンジャー先生の伝記、生前のご活躍、日本での影響力について1冊の本にまとめることを息子さんにお約束し、すでに出版社も決まっているのだが、忙しさにかまけてまだ実現していない。

高校時代英語を教えて頂いた故大谷静夫先生(東京大学卒)の米子のご自宅には、何度も本を借りにお邪魔した。先生の英語を読まれるスピードは並外れたものだった。エド・マクベイン、ロアルド・ダール、夢野久作を教えていただいたのもこの先生である。お亡くなりになった時に、「英語の本は全て八幡に送ること」とのご遺言で、奥様から英語の本を全てお譲りいただいた。4年前家を新築した時に、特注の書庫にプレートを掲げて全て収めさせていただいている。本との巡り会いに関しては、結構恵まれている八幡である。



先月行われたNHK全国学校音楽コンクールと全日本合唱コンクールに合唱部が出場しました。大会の感想を合唱部顧問勝部俊一郎先生と部長原啓太君に書いてもらいました。

二つの全国大会に参加して

合唱部顧問 勝部俊一郎

合唱部にはNHK全国学校音楽コンクールと全日本合唱コンクールの2つの大きなコンクールがあります。今年は5年ぶりに両コンクールとも全国大会に出場するという快挙を成し遂げることができました。

NHKの全国大会が開催されたNHKホールは紅白歌合戦でおなじみ、3500人を収容する大ホールです。中国ブロック代表として立派に演奏し、優良賞をいただくことができました。その模様は当日3時間にわたる生放送でご覧いただけた方も多と思います。

全日本の全国大会は石川県金沢市の金沢歌劇座で開催されました。このコンクールでは昨年金賞をいただきましたが、今年は惜しくも上位6校に入ることができず銀賞となりました。しかし演奏自体は決して昨年に劣るものではなく、特に自由曲は(北高合唱部のために作曲された、非常に高度な技術を要するものでしたが)その難しさを感じさせない余裕の演奏ができたと感じています。

この結果は合唱部員が毎日練習を重ねた賜物だと思います。しかしその一方で、日々多くの人に支えられていることを忘れてはならないと思います。

家族、友人、先生、先輩、その他今日までに出会った全ての人に感謝をし、これからも文武両道を目指して行きたいと思います。皆様本当に応援ありがとうございました。

合唱部部长 原啓太

10月に行われた、2つの全国大会を終了して、合唱部は今年出場する全てのコンクールに出場しました。多くの遠征があり、様々なホールで大勢の人に自分たちの音楽を聴いて頂き、とても貴重な経験をすることができたと思っています。

結果から報告しますと、NHK合唱コンクールでは優良賞、全日本合唱コンクールでは銀賞を頂きました。昨年のように、金賞をとるには至りませんでしたが、今年の北高合唱部は昨年に勝るとも劣らない、最高の演奏をすることができたと感じています。

この全国大会をもって三年生は引退となり、新しい北高合唱部が動き出します。部長等も交代し心機一転して、来年もまた自分たちの最高の演奏ができるよう、部員一同、一から努力していこうと思います。

最後になりましたが、北高合唱部を応援してきて下さった方々、本当にありがとうございました。これからも変わらぬご声援を、どうかよろしくお願いします。



～文化部特集～

今回は、松江北高校文化部の紹介をしたいと思います。各部活動の部長のコメント等を掲載し、皆さんにご紹介したいと思います。

【吹奏楽部】 部長 成田 美咲 こんにちは、吹奏楽部です。私達は、「自主・情熱・礼儀」を部訓に日々練習をしています。吹奏楽部は夏のコンクールをはじめ、沢山の演奏会に参加しています。毎日の練習は大変ですが、みんな音楽が大好きなので、とても部活が楽しいです。これからも素晴らしい演奏が届けられるように、頑張っていきたいと思います！

【箏曲部】 部長 田村 麻香 こんにちは箏曲部です。箏曲部は1・2年生各4人の計8人で毎週月・水・金曜日に活動しています。1・2年生ともにとっても仲が良く、今は来年の宮崎で行われる総文祭の出場権獲得を目標に団結して練習に励んでいます。学園祭や入学式、卒業式など全校の皆さんの前で演奏する機会も多いのでその時には是非耳を傾けてみてください。

【弦楽同好会】 部長 織原 侑未 こんにちは。弦楽同好会です。現在、2年生6人、1年生3人の計9人で活動しています。弦楽同好会の1年間の主な活動には、6月の北高定期演奏会、9月の学園祭、1月の3年生を送る会などでの演奏があります。また、県内5校の弦楽部（同好会）、吹奏楽部で構成されているしまねシンフォネット高校オーケストラの一員として年3回の合同演奏を行っています。先日の合同演奏では合同オーケストラとパイプオルガンの共演が実現しました。新しい発見があったのと同時に、来場されたみなさんにも喜んでいただいととてもよい演奏会となりました。

今後は1月9日のしまねシンフォネット高校オーケストラの定期演奏会、来年6月の松江北高校定期演奏会でしっかりした演奏ができるように、みんなで協力しながら練習に励んでいきたいと思います。これからも弦楽同好会をよろしくお祈いします。

【美術部】 部長 中島 由実子 美術部は顧問の宇津井先生のもとで、2年生3人、1年生10人の計13人で日々黙々と製作に取り組んでいます。今は高校美術展に向け、静物画やデザイン、人物画を各自描いています。どんな様子なのか気になる方、また美術部に興味のある方は、是非見学に来てください。

【百人一首部】 部長 堀江 玲美 小倉百人一首かるた部です。百人一首というと静かなイメージを持たれるかもしれませんが、実際はそんなことありません。かるたは一種のスポーツです。反射神経と集中力を鍛えたい人はぜひ入部を！現在部員は8名ですが、みんな仲良く楽しく練習しています。近々中国大会にも出場しますので応援よろしくお祈いします。

【将棋囲碁部】 部長 三須 亮介 私達囲碁・将棋部は2年生3人1年生11人で楽しく活動しています。私達の部は外部から指導者を招き技術向上のため頑張っています。部活動のない日も自主的に集まり対局するほど積極的な部活です。

【文芸部】 部長 原田 優香 こんにちは、文芸部です。文芸部は毎週月曜日に229教室で活動しています。図書室にひっそりと不定期に発行する部誌を置かせていただいていますので、興味のあるかたはご覧くださませ。

【JRC部】 伝統あるJRC部に今年は新入部員が全くいません。全国に広がる赤十字という活動の中で、高校生のできること高校生だからできるボランティアをさがしてみませんか？保育や福祉に興味を感じている人、週に1回の部会です。兼部もできます。ぜひぜひ入部してください！

【化学分析部】 部長 清水 圭呉 化学分析部は、2年生3人、1年生5人の計8人です。部長はSASUKEのファーストステージの12段飛びクリアを目指している熱中人です。今は堀川の水質調査をしていて、主に炭酸ジュースや石鹸作りなど化学好きになる実験をしています。6月には研修会があり、とても楽しいです。最後になりますが、“部員募集中”です。

【写真部】 部長 大家 才治 こんにちは。私たち写真部は毎年高等学校総合文化祭出場を目標に腕を磨いています。デジタルカメラの講習を受けたり、撮影技術大会に参加して他校の写真部と交流を深めたりもしています。自分の伝えたいことを考え、写真に表現する

のは、とても面白いものです。一緒に写真を楽しんでみませんか。

【新聞部】 部長 柏尾 優太 こんにちは、新聞部です。部室は22R隣のあのミステリアスな空間です。新聞部は年に約6回取材したことを記事にして新聞を発行しています。時には校外取材もします。また、他校の新聞部と交流新聞も作成するので文章力アップ確実…かも。しかし、現在部員2名で大ピンチです。兼部も比較的簡単なので救世主を待ってます！

【演劇部】 部長 池田 愛 私たち演劇部は毎週火・水・木に起雲館の2階で活動しています。練習は発声練習をしたり台本を読み演じたり時に書いたりしています。部員は7人と他校より規模が小さい中で頑張っています。残念ながらインフルエンザの影響で文化祭公演はできませんでしたが、三送会ではみなさんにお目にかかれるように励みます。

【茶道部】 部長 村上 萌 こんにちは!!茶道部です☆茶道部は現在1年生3人、2年生9人の計12人で、週3回楽しく活動しています♪そんな茶道部の活動は起雲館3階の素敵な茶室で行われています。茶室には高級な道具が数多くあり、その道具を使って、日々練習に励んでいます！水曜日には不昧会から先生が来られ、本格的にお点前をしているんです(^O^)そんな茶道部には1年に1度の大会イベント、学園祭のお茶会があります。今年度も沢山の人来ていただき、とても嬉しかったです♥これからも頑張っていこうと思います!!以上、茶道部でした〜♥

【生活科学部】 部長 松浦 史奈 私たちは金曜日に全学年がそろって活動しています。今年は季節の行事食を作るという新しいことにも挑戦しています。また研修会では他校の生活科学部の人たちと浴衣の着付けやパッチワークを習ったりもしています。これからも料理や裁縫の腕を上げていきたいです。とても楽しい部なので、一度のぞきにきてみてください。

【パソコンサイエンス部】 部長 山根 彩実 パソコンサイエンス部は現在部員1名なので、この場をお借りして勧誘させていただきます。特にパソコンが得意でない方でも、兼部でも構いません。そもそも部長がそういった状態です。楽しくパソコンをしたいと思う人はぜひP.S部へ入部してください。

【ESS部】 部長 川谷 紗知子 私達ESS部は2年生2人、1年生7人でナディーン先生と一緒に毎週月曜日に活動しています。活動はスクラブルや八幡先生の英語講座などです。また、他校ALT、東高のESS部員を招いてゲーム等をする交流会も行いました。今後はX'mas Partyや映画鑑賞をする予定です。

【華道部】 部長 安達 友紀 私たち華道部は2年生が2人、1年生が7人の9人で、月に数回、月曜日に化学実験講義室で活動しています。活動内容は花を生けることです。外部から講師の先生を招いて指導をしてもらえるので、様々な生け方をすることができます。また、毎回違った花を生けているので、どんな花が届くかも、楽しみの一つです。

【放送部】 部長 森谷 佳奈 私たち放送部の主な活動は、大会参加・学校行事司会・進行となかなかやりがいのあることがたくさんあります。そして、この部活の良い所は、やれば必ず結果がついてくるという所です。部員一同、これを教訓に、日々練習しています。さて、11月は総文祭に向けての大会があります。一生懸命頑張ってきますので、応援よろしくお祈いします！



総文祭出場おめでとう！

11月10日の時点で、次の部活動が来年の全国高等学校総合文化祭の出場を決めています。これからの活躍を期待しています！

箏曲部

文芸部

